

## 2020年4月海洋観測結果について

### 【御案内】

今年度から、栽培漁業センターの調査船「おしどり」による海洋観測は、前月25日から当月13日までの期間に原則実施することにし、調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

より漁業者にとって使いやすい形での情報提供になるようにするため、近々、沿海漁協への聞き取り調査を行いますので、その際にはご意見をいただけますよう、よろしくお願ひします。

### 【調査定線】

以下の表1、図1の調査点で調査を行っています。4月観測については、赤碕ラインは3月31日、長尾鼻ラインは3月25日に観測を行いました。

表1 観測定線

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

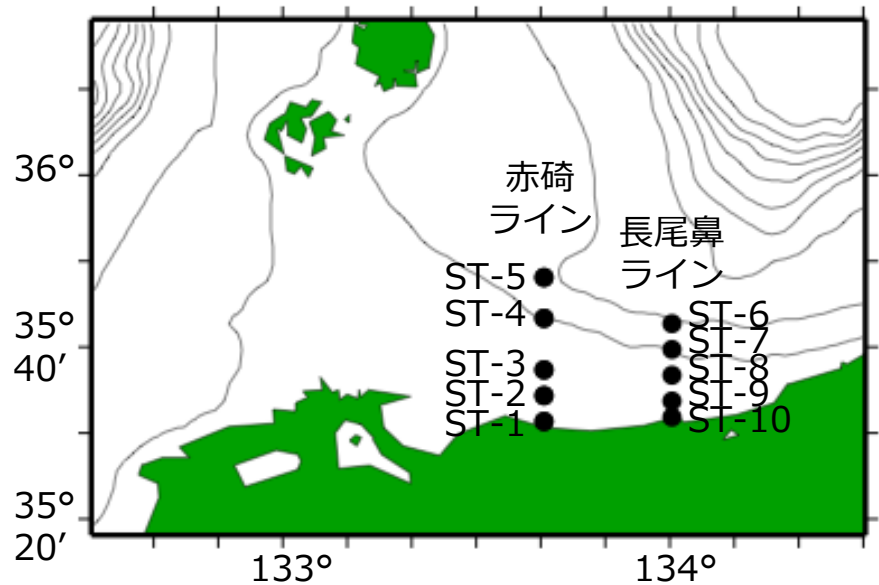
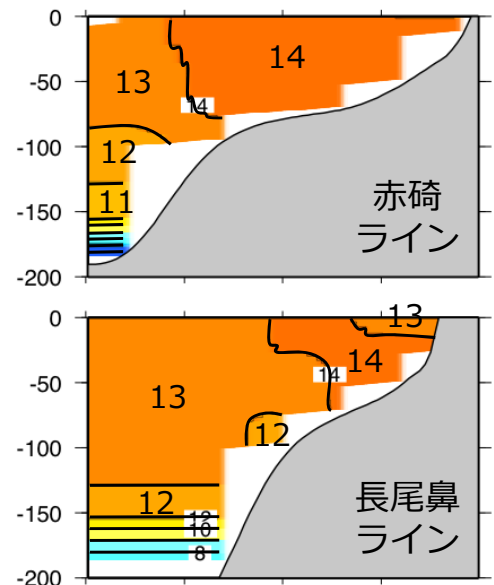


図1 観測定線

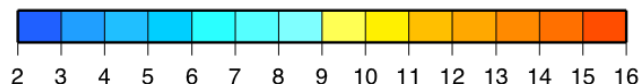


### 【鉛直分布図】

3月は水温が最も低くなる時期です。冬季に海面が冷却され、低温で高密度な海水が沈みこむため、水深100m付近まで、上下の海水は混合します。

今回の観測でも発達した混合層が確認され、水深0-100mの海水温は概ね13-14℃となっています(図2: 図中の数字は海水温)。

図2 鉛直分布図



### 【4月観測の水深帯別の比較】

2020年は暖冬の影響があり、同じ調査ラインで調査を開始した2010年から前年までの平均値と比較して、すべての水深帯で高い値となりました（表2）。特に赤碕ラインの水深0-50mでは、例年より1.5℃以上高い数値となりました。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2020年	14.0	14.1	14.0	13.1	13.8	13.8	13.5	13.0
前年	13.5	13.8	13.8	13.8	13.7	13.7	13.6	13.0
2010-19年平均	12.5	12.5	12.4	12.4	12.5	12.4	12.4	12.3
平年差	1.5	1.5	1.6	0.8	1.2	1.4	1.2	0.7

### 【2020年1月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの1月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を大きく下回った魚種は、サワラ、スルメイカで、前年、5年平均を大きく上回った魚種はヒラマサでした。

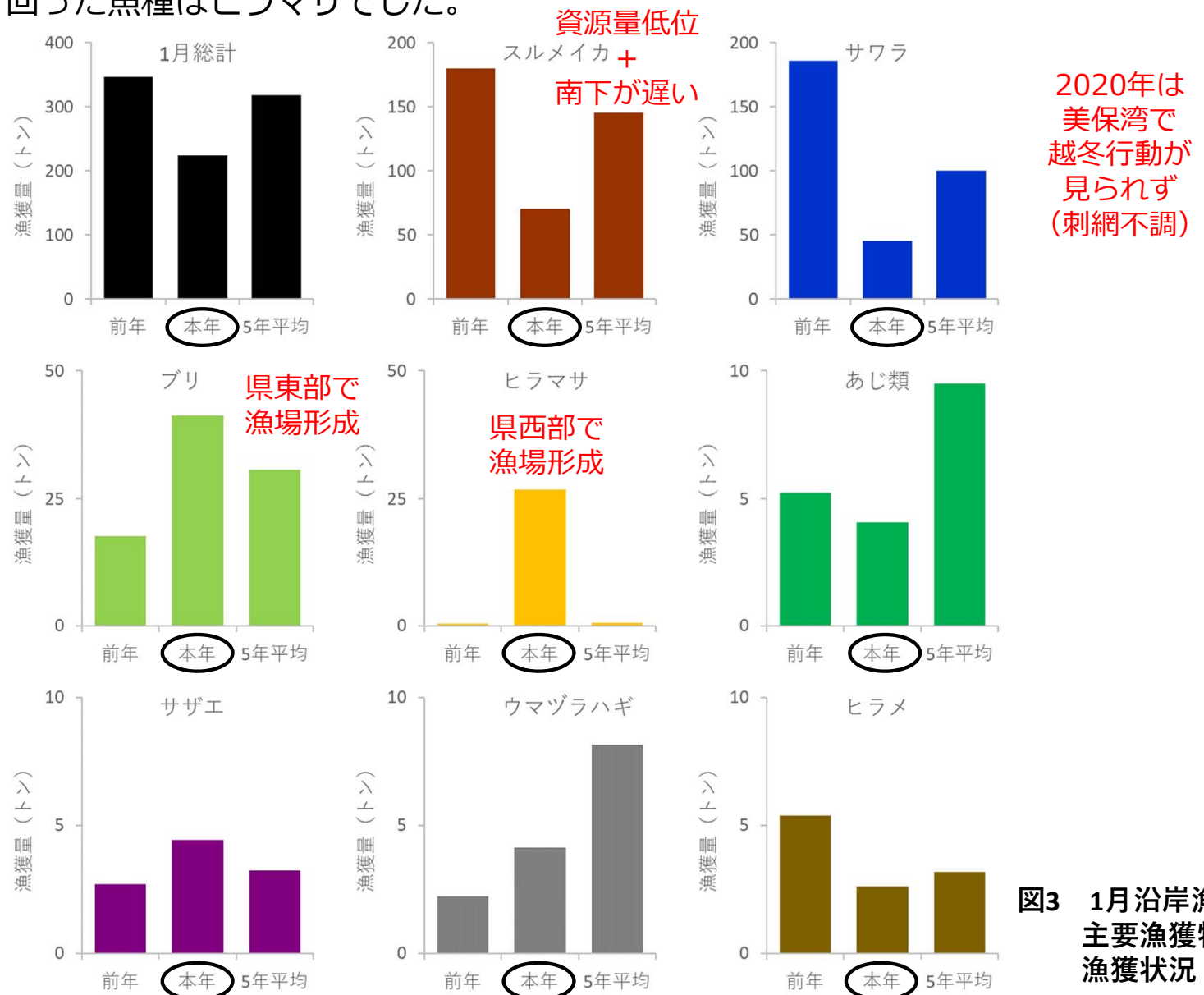


図3 1月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況